

オランダ長期研修報告 ～ハウス内統合環境制御技術について～



写真1 DEMOKWEKERIJ WESTLAND社
(農業施設展示場)



写真3 Priva 本社
(世界70カ国以上に環境制御機器を販売
している国際的なメーカーのひとつ)



写真2 Priva 本社のハウス環境制御
コンピュータ (研修用)



写真4 Priva 本社での講義の様子

施設園芸の先進国オランダでは既に統合環境制御（温度だけでなく湿度、日射量、炭酸ガス濃度などを同時に制御して栽培管理すること）が標準技術として確立され、高収益経営が行われています。

そこで、高収量を得るための環境データ取得方法、環境制御管理の手法を習得するため、オランダのDEMOKWEKERIJ WESTLAND社で3カ月間研修を受けるとともに、環境機器メーカーのPriva本社などを視察しました。

オランダでは、ハウス内の温度、湿度、飽差、炭酸ガス濃度等、ハウス外の温度、湿度、風向風速を各農家が常に測定し、週

1回の生育調査データとあわせて検討し、その後の管理方法に活かしていました。

その基本は、植物が最も効率良く光合成を行うための環境を作り出すことでした。

環境制御コンピュータは、刻々と変化する天候のデータから植物生理に基づいて各項目の優先順位を判断しながらハウス内の環境を制御することに用いられ、高い生産性を実現していました。

今後、高知の気象条件に適応した環境制御技術の確立を目指し、既存型ハウスや高軒高ハウスでの環境制御技術の試験に取り組んでいきます。

(営農システム担当 澁谷和子 088-863-4918)